



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

みんなで考えよう
緑豊かな町づくり

発行

志津南地区自治連合会

事務局：志津南公民館

Tel 563-6206

アンケート調査を実施

「緑豊かな環境を守り、安心して暮らせる町づくりを進めるにはどうすればいいのか」。

志津南地区自治連合会・町づくり委員会は、近年浮かび上がってきた課題解決に向け、住民みなさんの知恵を拝借しようと、全戸を対象にアンケート調査を実施します。

志津南地区は開町後20年を経過、わたしたちを取り巻く環境にもさまざまな変化が生じてきています。

例えば①高齢化の進行に伴うさまざまな対応②子どもの自立に伴う2世代・3世代同居における諸問題③A地域における緑化協定の失効（平成16年1月）に伴う対応④平成19年9月に期間満了を迎えるB地域の緑化協定⑤平成21年1月に期間満了を迎えるA地域の建築協定などがそうです。また近時の忍び込み犯罪の続発、不審者の頻発などに対する地域防犯活動の強化も緊急の課題です。直面する数々の課題を解決し、

空気の澄んだ緑豊かな環境を守りつつ安心して暮らせる町づくりを進めるためにはどうすればいいのか、住民みなさんの知恵を出し合うことが大切です。今回のアンケート調査は、こうしたことを目的に実施するもので、アンケート内容は多岐にわたっていますが、住民みなさんの考えを反映し自治会活動を更なるものにしていくためにはいずれも欠かせないものです。

若草単独の自治会から岡本町西を加えた志津南地区自治連合会としてさまざまな活動を行っている現在、各種団体と連携しながら、地域防犯活動の連携強化に向け「志津南地域安全連絡協議会」を発足させました。また「安心して暮らせる町づくり」を目指し、社会福祉ボランティアの活動態勢の充実、活性化などにも鋭意取り組んでいます。さらには住民相互のコミュニケーションと情報の共有化を促進するため、昨年9月に広報紙「わが町志津南N

NEWS」を創刊、今年度中にはインターネット上に志津南地区のホームページを開設する計画です。

アンケートでは①～⑤で例示した事柄以外に、このような点についてもお尋ねしています。趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

3つの活動目標掲げ

ボランティア部会立ち上げ

地区社協



ボランティア講座（志津南公民館）

ボランティア募集

町づくり委員会は、今回実施するアンケート調査の結果を集計するボランティアを緊急募集しています。集計作業はデータを所定のフォーマットに入力していただくのですが、エク

セルを操作できることが条件となります。

お手伝いいただける方は8月28日（土）までに志津南公民館までお申し出ください。多数ご協力くださるようお待ちしております。

なお、締め切り後に説明会を開きます。

りました。活動は次の3つです。

①花いっぱい運動 花いっぱい運動による「やすらぎ空間」を若草中央公園に創設します。花に関心をお持ちの方を待っています。

牡丹や藤、水仙、ユズモスなど美しい花がいっぱいの公園をめざします。

代表Ⅱ武藤恭三さん（若草5丁目）。

②安全パトロール 子どもたちの登下校時、とくに下校時の安全を確保するため、学校の先生やPTA、各種団体の方々と協力し安

全パトロールなどを行います。町全体の安全を守るため多くの方の参加をお待ちします。

代表Ⅱ岡安良孝さん（若草2丁目）。

③社会奉仕 現在、若草会のみなさんが行っている公園やバス停付近の清掃活動とともに、自分たちで自分たちの町を美しくする活動を展開します。

代表Ⅱ扇寛さん（若草1丁目）。

新しく芽生えたボランティア活動をみなさんと一緒に育てたいと思います。自分の時間や能力を振り向けていただける方は志津南公民館まで一報ください。

【連絡先】志津南地区社会福祉協議会Ⅱ電話（563）6206

志津南地区社会福祉協議会（滝井紀男会長）が3つの活動目標を掲げ、6月25日にボランティア部会を立ち上げ、住民参加を求めながら推進していくことにな

夏まつり

地域がひとつになって



祝：市制50周年



浴衣姿もまじって大にぎわいの会場（若草中央公園）

「第7回志津南ふれあい夏まつり」（同実行委員会主催）が7月24日（土）、若草中央公園を会場に「ハッピー志津南 みんなでつくろう地域」の和」をテーマに朝昼夜の3部に分け盛大に開催されました。

午前10時からの子どもフェスタには、親子連れら約250人が子ども免許証発行やニュースポーツ、モノづくり体験など各コーナーを楽しみました。

夕刻のたそがれコンサートには、高穂中学校の吹奏楽部の60人が舞台

いっぱい日頃の練習成果を披露、観客の喝采を浴びました。

夜には各町内や団体の模擬店がオープン、公園中央では盆踊りや保育園児のお遊戯、舞台では舞踊や演奏なども繰り広げられ、延べ約1500人の地域住民が夏の夜を満喫しました。

一方で実行委員会のみなさんは裏方として、昼は炎天下で熱中症に気を遣い、夜は催しの盛り上げに汗だく。お陰で事故もなく無事終えることができました。



子ども免許証発行には180人が申し込み



列をつくって順番待ち（ストラックアウト）



たそがれコンサートで熱演する高穂中生



健康体操でリラックス（健康推進員）



園児のまんまる音頭（若草くるみ保育園）



祇園まつり音頭（和踊会）

寝たきりにならないために ④

魚やキノコでビタミンDを



骨粗鬆（しよ
う）症予防の話
の続きで、今回
はビタミンDの
話です。

シウムやリンの吸収を促
進、骨の新陳代謝にも必要
です。

ビタミンは普通体内で合
成できませんが、ビタミン
Dは例外で、紫外線を浴び
ることにより皮膚内で合成

されます。昔と違い最近
は、紫外線は皮膚癌との関連や
シミやシワのもとと忌み嫌
われています。必要なビ
タミンDを作るために、夏
は木陰で30分、冬は戸外で
1時間ほどの日光浴が望ま
しいとされています。

ビタミンDは魚やキノ
コ、卵黄などに多く含まれ、
妊婦や授乳婦は通常の3
倍、5歳までの子供では4
倍の量を摂る必要がありま
す。

ビタミンD不足は、子供
ではクル病、成人では骨軟
化症を起こします。軽度の
欠乏が続くと骨吸収が進み
骨粗鬆症になりやすくなり
ます。

日本人の潜在的ビタミン
D欠乏症は高齢男女の6割
から7割、若壮年女性の2
割という報告があります。
高齢者のビタミンD欠乏

の主な原因は食事量の不
足、若壮年女性は魚の摂取
が少ないためと推定されて
います。また高齢者では皮
膚での合成力の低下、日光

への露出の減少などが加わ
り、股関節などの骨折を起
こしやすくなります。

最近の研究ではビタミン
Dが大腸癌、直腸癌、乳癌、
前立腺癌、黒色腫などの成
長を抑えたり、インシュリ
ン依存性糖尿病の発症率を
低下させたりするという
データも出ています。

ところで、喫煙は骨吸収
を促進しビタミンDの必要
量をさらに増加させます。
また、アルコールも腸管か
らのビタミンDの吸収を減
らします。心して下さい。
（若草診療所整形外科
宮原健一郎）



子どもたちに人気の「ヨーヨーつり」

Happy 志津みなみ

みんなできいこう 地域の和



「金魚すくい」で苦戦する子どもたち



「アメつかみ」や「あてもの」に一喜一憂



模擬店を支える裏方さんは汗だくで(たこ焼き)



G・S・Oの「おもちゃのチャチャチャ」の演奏
にあわせ子どもたちにプレゼント(テニスクラブ)



豪華賞品の当たる「お楽しみ抽選会」

絵巻物づくりに汗流す

「ゆめ」「まち」「あそび」の3巻制作



完成した絵巻物

市の委託事業「わがまちの子ども学び舎づくり」が6月19日と7月3日の2回にわたって志津南公民館で開催され、23人の子どもたちが絵巻物づくりに汗を流しました。

「絵巻物に挑戦しよう」と題して行われたもので、子どもたちは、まちのシンボル「ゆめ」「まち」「あ

そび」をテーマに絵巻物づくりに挑戦しました。

1回目の6月19日はミホミュージアム学芸部の駒井勉さんの「絵巻物って何だろう？」という解説に始まり、京都・高山寺に伝わる戯画絵巻「鳥獣戯画」(レプリカ)を模写しました。これが子どもたちの制作意欲をかき立てたようです。

また「子どもの美術教育をサポートする会」(津屋結唱子代表)のみなさん10人の指導で構図を考えなが



墨絵に取り組む子どもたち(志津南公民館)

ら水墨画を練習しました。2回目の7月3日は、町のシンボル「ゆめ」「まち」「あそび」をテーマに、サポートする会のみなさんと「手作り紙芝居げんごろう」(秋山謙二代表)のメンバー2人に手伝ってもらいながら、子どもたちはのびのびと感性豊かに墨絵に取り組みでいました。

縦32センチ、長さ8メートルの絵が完成すると、京表具師の森登樹男さんが、子どもたちの目の前で軸装に仕立て、3巻のすばらしい「志津南絵巻物」が完成しました。

墨一色ながら濃淡のある墨絵ならではの味わい深い絵巻物の完成に子どもたちは大感激でした。

志津南の宝物として大切にするとともに、機会を設けて地域のたくさんの方に見ていただくと考えています。(志津南公民館)

サークル

はりきっています

湖南ギターアンサンブルは、15年前に地域のギター愛好家の呼びかけで発足しました。

現在、20人強の会員でクラシックやポピュラーなど親しみやすい曲を選び、みんなでギター合奏を楽しんでいます。

メンバーは職業・年齢・ギターの腕もさまざま。入会の動機も数十年ぶりにクラシックギターを握る方、

湖南ギターアンサンブル

ウデも年齢もさまざま



地域のふれあいミュージックソングで演奏(平成15年・志津南公民館)

退職を期してギター演奏に挑戦の方などさまざまですが、元プロギタリストなど上級者の指導により一年以上アマカホールでの「さざなみコンサート」(今年は9月25日に行います)が中心ですが、びわこギターフタ村治香織のように上手にエスティバルや草津市民音楽祭などへも参加し、部内発表会や合宿なども行ってウデを磨いています。

練習は志津南公民館で、毎週土曜日の午後1時半から初心者・初級者練習、午後2時半から合奏練習を行っています。

「今年(今年)は9月25日に行います)が中心ですが、びわこギターフタ村治香織のように上手にエスティバルや草津市民音楽祭などへも参加し、部内発表会や合宿なども行ってウデを磨いています。

【連絡先】
代表 村井教夫
(電話)564の6893

人権講座



人権講座(志津南公民館)

人権の大切さ再確認

今年「人権講座」が7月17日(土)午後7時から

志津南公民館で開かれ、住民ら約60人が参加、人権の大切さを再確認しました。

講座は志津南地区同和教育推進協議会と志津南公民館が主催したもので、今回は前大津市人権擁護推進員協議会会長の深田弥行さんを講師に迎え、「忠言耳に逆らえど」と題した講演を聴きました。

これからも、一人ひとりの人権が大切にされる豊かな社会をつくるため力を合せていきます。今後とも協力よろしく願います。(志津南公民館)